

近畿都市学会報

第182号

2013年3月28日

近畿都市学会

近畿都市学会・連絡先

■ 近畿都市学会事務局

〒631-8502

奈良市山陵町1500

奈良大学文学部地理学教室内

近畿都市学会 事務局長（酒井高正）

> Eメール：info@kintoshi.org

> ホームページ：<http://www.kintoshi.org/>

> 電話：0742-41-9539

会費納入先：ゆうちょ銀行 振替口座

00990-7-86235 近畿都市学会

※ゆうちょ以外の金融機関からは下記で送金できます。

ゆうちょ銀行 ○九九店（ゼロキユウキユウ店）

当座 0086235 キンキトシカ`ツカイ

■ 近畿都市学会編集委員会 宛先

（原稿等はすべてこちらにお願いします）

〒530-0001

大阪市北区梅田1-2-2-600

大阪駅前第2ビル6階

大阪市立大学大学院 創造都市研究科内

近畿都市学会 編集委員会

（担当）副編集長：小長谷一之

> 電話：090-4649-2590

> ファックス：072-721-0064

> Eメール：konagaya@zc4.so-net.ne.jp

1. 2013（平成25）年度春季大会のお知らせ（予定）

近畿都市学会の2013年度春季大会は、兵庫県と共催し、以下のように予定しております。

【近畿都市学会・兵庫県共催】

【日時】2013年6月15日（土）

【会場】兵庫県公館（JR「元町駅」から徒歩7～8分、神戸市営地下鉄「県庁前駅」からはすぐ）

【プログラム】（予定）

1) (11:30までに) 会計監査

2) 11:30～12:30 理事会・評議員会

3) 12:40～13:20 総会

4) 13:20～13:25

開会挨拶 近畿都市学会会長 山田浩之

【講演・シンポジウムテーマ：ハイテク産業クラスターと地域経済】

5) 13:25～13:40

兵庫県副知事 金沢和夫氏「兵庫県の課題（仮）」

6) 13:40～14:30 テーマ基調講演

① 稲田義久氏（甲南大学教授）

② Mr. Thomas Jonnson (Midicon Valley Alliance Asian Ambassador)

（デンマークとスウェーデンにまたがる医療産業クラスターのアジア責任者である）

7) 14:30～15:10 テーマ鼎談

① 加藤恵正（兵庫県立大学教授）

② 稲田義久氏（甲南大学教授）

③ Mr. Thomas Jonnson (Midicon Valley Alliance Asian Ambassador)

8) 15:10～17:45 一般研究報告

9) 18:00～ 懇親会

一般研究報告の申込締切 →5月5日(日)事務局まで必着

一般研究報告の要旨提出締切 →5月10日(金)編集委員会まで必着

II. 2013年度春季大会研究発表の募集

■ 研究報告の募集

①研究報告の申し込み

→報告題目、報告者氏名(所属と連絡先を必ず明記して下さい)および報告する際の使用希望機器(パソコンプロジェクター等)を明記したものを、**5月5日(日)必着で近畿都市学会事務局まで**、Eメールの方法でお送り下さい。

②報告要旨の提出

→報告要旨を作成し、**5月10日(金)必着で上記の近畿都市学会編集委員会まで**、メール(できればテキストファイル)でお送り下さい。なお、フォーマットはヨコ40字・タテ38行、10.5ポイント、MS明朝(英数はcentury)とし、図表を含めて、1200字以内とします。

III. 2013年度日本都市学会各賞の推薦著書候補を募集します。

2013年度日本都市学会各賞(奥井記念賞、論文賞、まちづくり賞)の近畿都市学会からの推薦候補を募集いたします。対象は、以下の通りです、

【1. 奥井記念賞】日本都市学会会員の著作で、2011年1月1日から2012年12月31日の**2年間**に刊行されたもの。

【2. 論文賞】日本都市学会年報および地域都市学会学術誌論文で、2011年1月1日から2012年12月31日の**1年間**に刊行され、著者が掲載時39歳以下で、単著かファーストオーサーであるもの(本賞のみ、条件の合う方は全て全国の委員会で機械的に審査対象となりますので、支部へのご推薦は要りません)。

【3. まちづくり賞】都市学の発展に貢献し、新しい考え方を示した地域調査機関や行政等の報告書・まちづくり業績(2010年1月1日から2012年12月31日の**3年間**)で、その集団的創作にかかわった会員。

候補のある場合は2013年4月20日までに、近畿都市学会事務局までご連絡ください。近畿都市学会理事会において、日本都市学会への推薦を検討いたします。要綱等についての詳細は日本都市学会ホームページ<http://toshigaku.org/>をご覧ください。

IV. 近畿都市学会理事会等のご報告

近畿都市学会2012年度第5回理事会は、日時:2013年2月5日(火)に大阪市立大学文化交流センター談話室(大阪駅前第2ビル6階)で開催され、2013年度春季大会(兵庫県大、加藤実行委員長)、2013年度秋季大会(熊取町)、「都市研究」巻頭論文(岸和田特集)を検討しました。

近畿都市学会2012年度第6回理事会(記念事業臨時理事会)は、日時:2013年3月27日(火)に大阪市立大学文化交流センター談話室(大阪駅前第2ビル6階)で開催され、記念事業につきましては、以下、V.のように内容を検討しました。また2014年度合同大会(日本都市学会と合同の秋季)の予定も議論し、京都でおこなうこととしました。

V. 近畿都市学会55周年記念事業 『都市構造と都市政策』

『都市構造と都市政策』近畿都市学会（日本都市学会近畿支部）編：21世紀に入り、人口減少・高齢化時代を迎え、サステイナブルな都市づくりが求められています。また産業空洞化により、新たな経済・文化活動を生み出す力にあふれたクリエイティブな都市づくりも求められています。都市計画・まちづくりの新たなパラダイム転換期にあたる21世紀初頭に、近畿都市学会55周年を記念して本書を刊行いたします。

【内容検討紹介】「都市構造の変容（交通）」「都市構造の変容（歴史）」「コンパクトシティ」「交通」「人口減少」「高齢化社会」「郊外論」「ニュータウン」「中心市街地の衰退と再生」「都心回帰」「オフィス」「住宅」「商業」「物流」「工業」「都市型新産業（産業クラスター）」「都市型新産業（IT）」「学術研究都市」「GISと都市づくり（市民参加）」「都市文化」「観光」「医療・福祉」「市民参加」「歴史的まちづくり」「行財政論」「都市経営（PFIなど）」「防災」「海外の都市政策の動向」

VI. 日本都市学会第59回大会（九州担当、北九州市で開催）のご報告と、 日本都市学会第60回大会（中四国担当、高松市で開催）のお知らせ。

日本都市学会第59回大会（2012年度）は、九州都市学会が担当し、2012年10月26日（金）・27日（土）・28日（日）に、北九州市で「都市の進化」をテーマに開催し、参加者120名、懇親会67名、エクスカージョンは34名、研究発表者は41件と盛況のうちに終了することができました。主催の九州都市学会、共催いただいた北九州市、公益財団法人西日本産業貿易コンベンション協会、後援をいただいた西日本工業大学をはじめ、ご協力いただきました関係のみなさまには深くお礼申し上げます。

日本都市学会第60回大会（2013年度）は、中四国都市学会が担当し、2013年10月25日（金）・26日（土）・27日（日）に、香川県高松市において、「地方都市と国際化・国際交流」をテーマに開催する予定です。

日本都市学会第61回大会（2014年度）は、当、近畿都市学会が担当し、京都で開催の予定です。

詳細はホームページで追って連絡してまいります。学会員の皆様はスケジュールの調整をよろしくお願いいたします。くわしくは、日本都市学会ホームページ <http://www.toshigaku.org/> をご覧ください。

VII. 日本都市学会常任理事会のご報告

日本都市学会第2012年度常任理事会は、2013年3月24日に東京の東京工業大学サテライト内広島大学オフィスで開催され、2012年度報告・決算、2013年度計画・予算、年報編集、59回大会報告、60回大会予定、学会賞などを審議しました。日本都市学会事項につきましては、詳しく、日本都市学会ホームページ <http://www.toshigaku.org/>（「都市学ドットオルグ」です）をご覧ください。

■ 近畿都市学会入会のおすすめ

近畿都市学会会長 山田 浩之

21世紀は人類の大半が都市民となる空前の「都市の世紀」を迎えます。しかし、この急速な都市化の前には、環境、開発・保存、防災、人口、交通、福祉等の深刻な課題が逼迫しています。これらの課題の調査研究は、従来は土木・建築、地理、経済、社会、政治・法等の諸学会の研究課題として取り組まれてきましたが、それらの総合的研究は、未だ十分な状態にあるとはいえません。都市に関する理論や諸問題を研究し、健全な方向に都市の発展を導くような総合的・学際的「都市研究」が、各方面から要請されています。

こうした要望にこたえ、第二次大戦後、日本都市学会が復活し、1957（昭和32）年にはその支部として近畿都市学会が設立されました。この間、学会では大学その他の研究者と市政担当者との緊密な協力のもとに、都市に関する総合的な調査研究の実をあげてきました。さまざまな都市問題の解決、都市政策の提言・実践が緊急に迫られている今日、更に多くの研究者、公共団体、NPO・NGO等の市民団体の皆様に御入会をいただき、実り豊かな都市研究を押し進めたいと考えています。

この主旨に御賛同のうえ、近畿都市学会に御入会下さいますよう切に希望する次第です。

=====

1. 代表的な年間活動

- (1) 学術雑誌『都市研究』を年1回発行。
- (2) 『近畿都市学会報』を年4回発行。
- (3) 学術雑誌『日本都市学会年報』を年1回発行。[日本都市学会事業]
- (4) 近畿都市学会大会を年2回開催。
(春季大会は大学・学術研究機関等、秋季大会は地方自治体)
- (5) 他に日本都市学会大会を年1回開催。[日本都市学会事業]
- (6) 日本都市学会賞（奥井賞、論文賞、特別賞（まちづくり賞、学術共同研究賞））

授与。[日本都市学会事業]

2. 普通会员の特典

- (1) 上記雑誌『都市研究』（年1巻）の購読・投稿（査読論文部門）の機会。
- (2) 上記『近畿都市学会会報』（年4号）の購読の機会。
- (3) 上記雑誌『日本都市学会年報』（年1巻）の購読・投稿の機会。
- (4) 上記近畿都市学会大会（年2回）への参加・発表の機会。
- (5) 上記日本都市学会大会（年1回）への参加・発表の機会。

※日本都市学会は地方学会（近畿都市学会他）から同時入会となります。普通会员は、年会費8,000円（日本都市学会会費4,000円＋近畿都市学会会費4,000円）です。自治体・法人・企業等は、特別会員（年会費10,000円）となります。

3. 学生会員の特典（学生は普通会员のほか学生会員を選択することもできます）

- (1) 上記雑誌『都市研究』（年1巻）の購読・投稿（査読論文部門）の機会。
- (2) 上記『近畿都市学会会報』（年4号）の購読の機会。
- (3) 上記近畿都市学会大会（年2回）への参加・発表の機会。

※学生会員は、年会費4,000円（近畿都市学会会費のみ）です。

4. 申込連絡先

〒631-8502 奈良市山陵町1500 奈良大学文学部地理学教室（酒井研究室）内
近畿都市学会事務局 酒井 高正 eメール：info@kintoshi.org
ホームページ：<http://www.kintoshi.org/>

<2013年度会費納入のお願い>

1 頁題字下に記載の口座に2013年度分会費を納入いただきたくお願いいたします。

・ゆうちょ銀行総合口座をお持ちの方はATMから口座間送金（電信振替）でお送りいただくと手数料が無料になります。

・会費年額は、普通会员8,000円、学生会員等（近畿都市学会のみ）4,000円、名誉会員（日本都市学会にも在籍）4,000円、名誉会員（近畿都市学会のみ）無料、特別会員（団体）10,000円です。